監査報告

平成23年度境町一般会計及び6件の特別会計並びに水道事業会計については、監査委員の決算監査が行われ次のとおり報告がありました。

（鈴木眞吾監査委員）

○一般会計及び特別会計

一決算計数について

決算額と帳簿の計数は符合しており適正と認める。

二財産管理について

財産に関する調書の計数は、管理簿及び証憑書類に符合しており、また、調書以外の物品も台帳管理を行っており適正である。

三事務執行について

収支の執行は、収支命令に符合しており、また、契約事務も適正に行われ、法令、条例、規則に準拠の執行であり適正である。

○水道事業会計

帳簿は正確に記録されており、諸表の計数も非違はなく、当該年度の事業執行について、すべての財源とその使途及び年度末における財政状態を適正に表示しており、合法かつ正確と認める。

境町監査委員　鈴木　眞吾
　　関　　稔

提出議案の内容と審議結果

条例の改正

○境町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

労働安全衛生法第13条の規定により、産業医の選任に伴い、その報酬を定めるため条例の一部を改正するもの。

○茨城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

【原案可決】

住民基本台帳法の一部改正に伴い茨城県後期高齢者医療広域連合規約を一部変更することについて、地方自治法291条の11の規定により境町議会の議決を求めるもの。

補正予算

○平成24年度境町一般会計補正予算（第4号）

【原案可決】

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千830万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ86億110万5千円とするもの。

○平成24年度境町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

【原案可決】

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ4千953万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ32億1千234万2千円とするもの。

○平成24年度境町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）

【原案可決】

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千204万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億9千388万3千円とするもの。

○平成24年度境町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

【原案可決】

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千818万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ14億1千407万7千円とするもの。

○平成24年度境町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

【原案可決】

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ60万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ8億6千158万8千円とするもの。

○平成24年度境町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

【原案可決】

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ50万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億4千407万円とするもの。

人事案件

○境町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

【即日原案同意】

境町大字浦向542番地
石塚　義光

○境町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

【即日原案同意】

境町571番地3
石綿　由紀子

請願・陳情審査結果

○教育予算の拡充を求める請願

【採択】

請願者
水戸市笠原町978番地46
茨城県教職員組合
代表　髙野　冨二男
ほか156名

○東海第二原発廃炉を求める決議に関する請願書

【継続審議】

請願者
境町大字伏木847番地
子供の未来を考える会
代表　小久保　弓

意見書の提出

次の意見書を可決し、政府関係機関へ提出しました。

○教育予算の拡充を求める意見書

子供たちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤作りにとってきわめて重要なことであり、教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させるためきめ細かな教育の実現と少人数学級を推進すること。

また、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため義務教育費国庫負担制度を堅持すること。及び、東日本大震災における教育復興の予算措置の継続を強く要望する。

提出先　内閣総理大臣ほか5名

一般質問

議席1番　濵野　健司　議員

○いじめについて

Q.境町の小中学校において、いじめはあるか？

A.ある。

Q.これまでいじめに対しての調査または対策として、どのような取り組みがあったか？

A.7月19日に県からの依頼に基づきいじめ問題に関する緊急調査を行い小学校5件、中学校で22件あったが中学校の1件はまだ解決していない。また、年3回のアンケートや本人、保護者と面接を行ってきた。

［教育長］

Q.移りゆく学校教育の中で、いじめ対策として今後どう取り組んでいくのか？また新しい取り組みなど何か考えはあるのか？

A.小学校3年生から中学校3年生までを対象に、いじめ発見心理テスト「QUテスト」の実施及び児童生徒教職員、保護者、住民を対象に講演会を実施する。また、校長、教頭を中心とした、いじめ対策委員会を設置する。

［教育長］

Q.対話が何より大事で、被害者の声を早期にきける環境づくりに最も尽力を尽くすべきだと思うが、町長はどう思うか？

A.当町では大きないじめ問題は発生していないが、今後も問題が起きな